

2023年2月6日

各 位

保土谷化学工業株式会社
朝日アグリア株式会社

新たな複合農業資材の共同開発についてのお知らせ

保土谷化学工業株式会社（本社：東京都港区、以下、保土谷化学）及び朝日アグリア株式会社（本社：東京都豊島区、以下、朝日アグリア）は、このたび、新たな農業資材の研究開発にかかる共同開発契約を締結し、両社資材の特徴である、土づくり・土壌改良等の共通性に着目した、「酸素供給剤」と「堆肥」との複合農業資材を新たに開発し、今後の事業化に向け協働することとなりました。

保土谷化学は、基盤事業である過酸化水素誘導品の農業分野への展開として、1977年、国内で初めて「畑作用酸素供給剤」を上市し、それ以来、気候変動に伴う台風や、局所豪雨、長雨等による湿害対策として農作物の育成環境を改善するなど、健全な生育を促進するという一貫したコンセプトで普及を進めてまいりました。

また、朝日アグリアは、堆肥等有機資材のトップメーカーとして、家畜ふんや食品工業産物等の未利用資源を有効活用した、独自の粒状化技術による堆肥ペレット等を開発し、「資源循環型社会」と「環境保全型農業」の推進をけん引してまいりました。

今回、協働で開発する農業資材は、両社が持つそれぞれの資材の特徴である、土づくり、土壌改良の共通性に着目し、肥料効果と湿害対策、好気性微生物の増加、作業効率化などが期待される堆肥・酸素供給剤の複合資材です。畑作物に対する土壌生育環境の改善と湿害対策で、作物育成の安定化による普及拡大を目指します。

また、農水省が提唱する「みどりの食料システム戦略」における化学農薬、化学肥料の低減にも寄与するものと捉え、今後も、両社にて、持続可能な環境調和型の農業生産に貢献する資材の開発ならびに市場への供給に取り組んでいく考えです。

なお、本件の取り組みは、保土谷化学の中期経営計画「SPEED 25/30」において、フェーズ1「2025年度までに目指す姿」の事業戦略ロードマップにおける「新たな事業領域：環境重視型農業資材」であり、事業強化における戦略事業の重要施策として、位置付けております。

以上

【お問合せ先】 経営企画部 （TEL：03-6852-0327）

<取り組みイメージ>

